

## 総務ブランディング委員会

委員長 三角 太作  
副委員長 竹内 大樹  
運営幹事 前田 和範  
委員 岩上 健太郎 ・ 桑畑 真也 ・ 田之上 尚満  
富永 聡 ・ 二見 康之

### 【基本方針】

先人たちが利他の精神に基づき築き上げてきた都城青年会議所は、常にこの圏域で信頼を集め、伝統ある組織として在り続けてきました。しかし、昨今、劇的な時代変化にともなう価値観の多様化や厳しい経済情勢の中、組織としての存在意義が問われています。我々がこの圏域で必要不可欠な存在で在り続けるためには、不偏的組織運営を行うとともに、社会情勢を反映させながら、不変的伝統ある組織の基盤や価値をさらに研ぎ澄ませ、普遍的価値を享受する人財となることが肝要です。

まずは、最高意思決定機関である総会を厳粛かつ厳正に運営するとともに、定款・諸規程の立法事実を調査・分析し、その趣旨・目的を的確に把握したうえで、時流を踏まえながら合理的かつ効率的な組織運営を可能とするために、不偏的立場から改正の必要性を検証します。また、不変的伝統を厳守するために、より一層の組織強化・組織統制を図ります。そのうえで、都城青年会議所の新たな存在意義を確立するためには、特異性を主軸とした組織のブランディングが必要で、我々が継承してきた普遍的価値を享受する人財の育成を更に引き立たせることが重要です。そのために、過去の事業を調査・研究し、対内的に要諦の理解の深化を図り活動基盤の強化を行うことで、ブランディングの推進力向上を図ります。さらに、先人たちが築き上げてきた歴史や伝統と自己実現可能性・人財育成の体系を他の団体と差別化し、若年層を中心にターゲットにしたうえで、能動的かつ対外的に発信することにより、信頼と共感が増大し、より多くの賛同者が生まれ、市民の意識を変革する契機となるのです。

我々は、伝統ある都城青年会議所の一員としての責任を自覚し、利他の精神と判断能力を兼ね備えた“ふへん”的存在へと成長することで、組織は強化され、この圏域における信頼と共感という相互関係を築き上げることが「明るい豊かな社会」の実現に繋がるもの

と確信します。

#### 【事業計画】

1. 総会の運営、実施
2. 基本資料、総会資料の作成
3. 法人手続き、資産、備品管理
4. 定款・諸規程の運用、検証
5. 年間を通じた、都城J Cのブランディング運動
6. ホームページとF a c e b o o kを活用した広報の運営
7. 例会における出席率発表
8. 例会、事業及び各種大会での出席率発表
9. 選挙セミナーの実施
10. 新入会員予定者の事前審査及びオリエンテーションの実施
11. 全国大会「埼玉中央」への参加企画
12. 日本J C協働運動・連携推進運動事業の窓口
13. 名義後援の受付、理事会への上程
14. 日本J C、九州地区協議会、宮崎ブロック協議会への協力、支援
15. 出向者への協力支援
16. 拡大3名必達

#### 【予 算】

1. 選挙セミナー実施費（その他の事業費）	4, 0 0 0円
2. 新入会員予定者のオリエンテーションの実施費（その他の事業費）	1 1, 0 0 0円
3. ブランディング運動実施費（その他の事業）	5 6 7, 0 0 0円
4. 魁！！風紀塾活動費（その他の事業）	2 7, 0 0 0円
合 計	6 0 9, 0 0 0円